

令和2年度 第1回 名古屋市環境影響評価審査会
会議録

1 開催日時

令和2年5月28日（木）午前10時～午前10時55分

2 開催場所

市役所大会議室（東庁舎5階）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、会長以外の審査会委員はWEB会議システムにより参加

3 出席者

(1) 審査委員（五十音順、敬称略）

青木 聡子	（名古屋大学准教授）
市野 良一	（名古屋大学教授）
香川 雅子	（愛知学院大学非常勤講師）
黒澤 浩	（南山大学教授）
佐野 泰之	（愛知工業大学教授）
田代むつみ	（名古屋大学特任講師）
都竹愛一郎	（名城大学教授）
西田佐知子	（名古屋大学准教授）
西野 隆典	（名城大学教授）
橋本 啓史	（名城大学准教授）
藤田 素弘	（名古屋工業大学教授）
洞澤 秀雄	（南山大学教授）
堀 和明	（名古屋大学准教授）
増田 理子	（名古屋工業大学教授）
松山 明	（中部大学准教授）
森 旬子	（名古屋市立大学教授）
横田久里子	（豊橋技術科学大学准教授）
横山 清子	（名古屋市立大学教授）

計 18 名

(2) 事務局 地域環境対策部長始め 5 名

(3) 傍聴者 7 名

4 議事及び意見等の要旨

事務局より、今回の審査会の出席者が18名であり、審査会が成立していることを確認した。また、本日のスケジュールについて簡単に説明した。

議題1 （仮称）大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価方法書について

[会長] それでは、議題1「（仮称）大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価方法書について」の審議に入りたいと存じます。

議題1の審議に入ります前に、この事業のアセス手続に関しまして、事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] 方法書につきましては、3月25日から4月23日まで縦覧、閲覧を行い、5名の方にご覧いただきました。

また、方法書に係る環境の保全の見地からの意見につきまして、5月8日まで受付を行い、1件の提出がございました。この意見につきましては、本日の参考資料としてご用意しております。意見に対する事業者の見解は、後日、委員の皆様へお送りさせていただき、次回の審査会でご報告させていただきます。

方法書説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、開催を中止しており、説明会の開催に代わる代替措置を講じた旨の報告を受けておりますので、後ほど説明させていただきます。

なお、本方法書の審査のスケジュールについてですが、今後のご審議は今回と次回の2回とさせていただきます。今回の審査会では方法書の内容についての審議を、次回の審査会では答申案の審議をいただきたいと思いますと思っております。

以上でございます。

[会長] ありがとうございます。

それでは、資料1「第7回審査会での質問と回答」、資料2「第7回審査会後の質問と回答」、資料3「方法書説明会の代替措置」、参考資料「環境の保全の見地からの意見」につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

[事務局] (資料1、資料2、資料3、参考資料について説明)

[会長] ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

[会長] よろしいでしょうか。

[会長] それでは、「(仮称)大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価方法書」につきましては、次回に答申を取りまとめる予定でございますので、今後のスケジュールにつきまして、事務局からご説明をお願いいたします。

[事務局] 今後のスケジュールをご説明させていただきます。

これまでに頂戴しましたご意見を踏まえ、私共で答申の事務局原案を作成し、方法書の市民意見に対する事業者の見解と併せ、6月上旬頃を目途に委員の皆様へ送付したいと考えております。ご覧いただきまして、ご意見等がございましたら、追ってご連絡します締切日までに事務局へご連絡をいただければと思っております。

委員の皆様のご意見を踏まえまして、次回の審査会で「答申(案)」をお示しさせていただき、ご審議を経まして、答申をいただくという流れで進めさせていただきたいと考えております。よろしくをお願いいたします。

[会長] ありがとうございます。ご説明いただいたスケジュールでよろしいかと思っておりますので、委員の皆様、よろしくをお願いいたします。

議題2 名古屋市南陽工場設備更新事業に係る環境影響評価準備書について

[会長] 続きまして、議題2「名古屋市南陽工場設備更新事業に係る環境影響評価準備書について」の審議に入りたいと存じます。

議題2の審議に入ります前に、この事業のアセス手続に関しまして、事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] 見解書につきまして、3月10日から24日までの間、縦覧を行い、1名の方にご覧いただきました。

また、見解書について環境の保全の見地からの意見を伺うための公聴会につきましては、

4月25日に開催を予定して、4月8日までの意見陳述の受付を行い、1名の方から申込みがありました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、公聴会の開催を中止させていただきました。その代替措置として、環境の保全の見地からの意見、意見に対する事業者の見解、さらにこの見解に対する補足意見の提出を受けましたので、後ほどご説明させていただきます。

準備書の審査のスケジュールについてですが、今後のご審議は今回と次回の2回とさせていただきます。今回の審査会ではこれまでの論点整理を、次回の審査会では答申案の審議をしていただきたいと思います。以上でございます。

[会長] ありがとうございます。

それでは、資料4「第7回審査会での質問と回答」、資料5「見解書に対する環境の保全の見地からの意見等」について、事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] (資料4、資料5について説明)

[会長] ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

[会長] よろしいでしょうか。

それでは、資料6にこれまでの議論における論点が整理されておりますので、事務局より説明をお願いいたします。

[事務局] (資料6について説明)

[会長] ありがとうございます。それでは、ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

[委員] 予測・評価等に関する事項の5番、騒音ですが、骨子案は「周辺環境への影響の低減に努めること」となっています。他の項目でも「努めること」という文言が結構使われているのですが、厳しい言い方をすると、努めるのであれば誰でも出来る、ということもありますので、可能のところはもう少し踏み込んだ表現にしても良いのではと思います。具体的には、先程の騒音のところだと、「基準値以下になるように対策をとる」くらいのことを言うてはいかがでしょうか。

[事務局] 規制基準は寄与騒音レベルにかかりますので、規制基準値自体は満たしているのですが、現況騒音レベルが高いため、寄与騒音レベルと合成して供用時騒音レベルを出すと基準値を超えることから、努めること、としています。

[委員] 理屈は分かりました。ただ、現況騒音と足して超えるということは、やはり煩いと思いますし、しかも夜間なので影響が大きいと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

[事務局] 答申の事務局原案の作成の際に、検討したいと思います。

[会長] 準備書242ページの表を見ると、現況騒音レベルに寄与騒音レベルが加わっても1dBも変わらず、ほとんど影響がありません。現況騒音レベルが支配的なのですね。

この現況騒音は、今の施設が稼働している時ですか。

[事務局] 稼働していません。

[会長] 支配的なのは、道路騒音ですか。

[事務局] 道路、工場等が考えられます。

[会長] 道路、工場等の音があって、もう既に高いのですね。表現が少し難しいところです。先生、よろしいでしょうか。

[委員] はい、大丈夫です。

[会 長] 他にご意見、ご質問ございませんでしょうか。
よろしいでしょうか。

[会 長] ありがとうございました。

「名古屋市南陽工場設備更新事業に係る環境影響評価準備書」につきましては、次回に答申を取りまとめる予定でございますので、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。

[事務局] 今後のスケジュールをご説明させていただきます。

スケジュールとしましては、大江川公有水面埋立ての方法書と同じでございます。

論点整理と本日いただきましたご意見を踏まえ、私共で答申の事務局原案を作成し、6月上旬頃を目途に委員の皆様へ送付したいと考えております。ご覧いただきまして、ご意見等がございましたら、追ってご連絡します締切日までに事務局へご連絡いただければと思っております。

委員の皆様からのご意見を踏まえまして、次回の審査会で「答申（案）」をお示しさせていただき、ご審議を経まして、答申をいただくという流れで進めさせていただきたいと考えております。よろしくをお願いいたします。

[会 長] ただ今ご説明いただいたスケジュールでよろしいかと思っておりますので、委員の皆様、よろしくをお願いいたします。

その他

[会 長] 本日、予定されていた議題は以上でございますが、事務局から他に何かございますでしょうか。

[事務局] 次回の審査会でございますが、審議内容としましては、（仮称）大江川下流部公有水面埋立てに係る環境影響評価方法書及び南陽工場設備更新事業に係る環境影響評価準備書の答申についてを予定しております。よろしくをお願いいたします。

[会 長] それでは、これもちまして、本日の審査会を終了いたします。どうもありがとうございました。